

全国クリエイター会員の皆様、お元気でしょうか。師走に入り、今年も大詰めを迎えます。忙しくなるこの時期は、つい無理をしてしまいがちですが、年末年始を無事に乗り切るためにも、健康には気を付けていきましょう。あなたの代わりはどこにもいません。体調を整えることも仕事のうちと考え、心身の健康維持に努めましょう。

さて、育成上手な人が持つ力とは、ということで、自分なりの経験したことを通してお話させていただきます。それは人づくりの基本、「感化力」だと思います。うまく人を成長させることのできる人とできない人の差は、「感応道交」（11月度 LOVE メッセージにて）の付き合いを通して、感化してゆく人であると思います。感化力を身につけるには、「自分づくり」が大切です。自分と相手の信頼関係がないと、逆さにしたコップの上から、いくら水を注いでもコップが満たされないように、助言やアドバイスや教えを受ける相手のコップを上に向ける力、これが「感化力」の正体であり、思いやりの力だと思います。その人の心を和らげ、相手の心がゆったりとほころんだときに、初めてその人の幸せを考えつつ、その人に応じた話を進めること。人のことも聞かずして頭からぼんぼん言う人は、思いやりのない、つまらない指導者、リーダーになってしまいます。人を教え導くときには、「感応道交」の関係性を築き、思いやりを発揮するための「自分づくり」、そして「共有」を前提とすることで、結果的に「人づくり」がうまくいくように思います。皆さんどうでしょうか。仕事において指導する、伝えてゆく立場の人は、つい口を出したくなるがありますが、本人が自発的に考え、行動できるように深く見守ることも大切です。

人類が技術や文明を発展させることができたのは、「集合知性」と呼ばれる力のおかげだと言われています。集団（組織やグループ）が1つの頭脳のように働くことを言い、天才をしのぐほどの優れた結果を生み出すことができます。脳科学者の岩崎一郎さんによると、チームが集合知性を発揮するには、次の3つの要素が必要だと言います。

- 1) お互いの気持ちや視点を理解して、お互いの立場に立てること。
- 2) 対等に発言できる、あるいは本音でぶつかれること。
- 3) メンバーが共感できる共通の目的に向かって、心をひとつにできていること。

優れた人達が集っても、互いの欠点を責めたり、自分の成績にしか興味がなかったりしたら、チームとしての結果が良くなることはありません。全員が心を通わせ、ひとつの目標に向かうことで大きな力が発揮できるように思います。仲間との絆がグループの発展に繋がります。

戦国武将の武田信玄の言葉を思い出します。「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」人を大事にし、適性を見抜き、細かな気配りをするので、「集合知性」が発揮されます。

さて、人生を充実させるために手放した方が良い5つのことを紹介します。

- 1) 過去への執着（過去の失敗や成功にこだわりすぎては前に進めない）
- 2) 他人への嫉妬（他人と自分を比べて落ち込んだり妬んだりしては、自分の長所や魅力を失ってしまいます）
- 3) 良くない習慣（食生活、運動不足、心身に悪影響を与える習慣を見直しましょう）
- 4) 成長を邪魔するプライド（謙虚な気持ちで学ぶ姿勢をもつ）
- 5) 「できない」という言い訳（挑戦、行動する前に諦める癖をやめる）

年末年始の大掃除をする時期、心も整理して、不要なものは手放してはどうでしょうか。

2024年は辰の年、辰年は、陽の気が動いて万物が振動し、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だと言われています。コロナも収束し、社会が活発に動き始めました。来年は、この数年間に積み重ねた努力が実る年にしたいと思います。いつチャンスが来てもいいように、体力と知力を蓄えておきましょう。何かと気忙しい年の瀬、仕事の面でも時間に追われるような感覚を味わっているかもしれませんが、体調には十分気を付けてゆきましょう。今年1年間、皆様には大変お世話になりました。心から御礼申し上げます。

いつもグラント・イーワンズを支えて頂き、心より感謝申し上げます。いつもいつもありがとう！